



「人権の花」運動を推進していきます。花を育てる活動を通して、命を大切にする心や思いやりの心を更に育てて参ります。

令和8年度1学期を振り返りました

4月 — 合言葉「やってみよう、」とともに—

5月 — 運動会、そして次の活動へ —



令和8年4月8日、年度が始まり、校舎に子どもたちの声が戻ってきました。春のおだやかな季節の中、子どもたちが新しい教室へ向かう足取りには、期待と少しの緊張が入り混じっていました。始業式では、今年度の合言葉「やってみよう、」を全校で共有しました。大きな挑戦でなくても構いません。昨日より一歩だけ前に進む、その積み重ねを大切にしてほしいという願いを込めています。

4月9日の入学式では、元気な1年生8名を迎え、学校が更に活気づきました。3・4年生の複式学級もスタートしました。複式のよさは、学年を越えた自然な学び合いが生まれることです。これから伸びていく学級の姿が想像できます。6年生は学校のリーダーとして下学年を優しくリードしてくれる姿が随所に見られた4月となりました。他学年も元気にスタートを切りました。その勢いが5月の運動会へつながっていきます。

保護者の皆様へ

運動会では、奉仕作業、前日準備、種目への参加、片付けと、多方面にわたりお世話になりました。また、先日のプール掃除にもご協力いただき、保護者の皆様のお力添えのもとで教育活動が成り立っていることを改めて実感しております。心より感謝申し上げます。

5月に入ると運動会練習が本格的になりました。中学校との合同の運動会。中学生の立派な姿に誘導されるように小学生も自分たちの力を発揮することができました。雨が多くて練習のやりくりにも苦労しましたが、当日に向かって頑張ってくれました。

学校生活のリズムも少しずつ整ってきました。授業中の集中した表情、休み時間の伸び伸びとした笑顔、友達と協力しながら課題に向き合う姿。日々の学校生活の中で、子どもたちの成長が積み重なっています。しかし、時には後戻りすることもあります。けれど、その経験も含めて、子どもたちが成長していくために欠かせない大切な過程です。

校外での体験活動も多く、御所浦の自然や地域の方々との関わりを通して、子どもたちは多くの学びを得ています。活動の中で印象的だったのは、子どもたちが見せる「挑戦する姿」です。うまくいかなかったがあっても、友達と相談しながら前に進むとする姿勢が見られました。「やってみよう、」の合言葉が、子どもたちの行動に少しずつ根づいてきていると感じます。

先日、「子どもたちの挨拶がいいですね。」という地域の方からのお言葉をいただきました。嬉しいことです。

教職員も、子どもたちのよさを引き出すために授業改善や環境づくりに取り組んでいます。子どもたちの小さな変化を見逃さず、成長につながる支援を続けていくことの大切さを感じる日々です。



本校では、日々子どもたちの学びや学校での取り組みを、ホームページでもお知らせしています。行事だけでなく、授業の様子や地域と関わる活動など、御所浦小学校の日常を感じていただければと思います。今後はホームページのブログを学校便りとして位置づけて参ります。たまに覗いていただくと幸いです。

